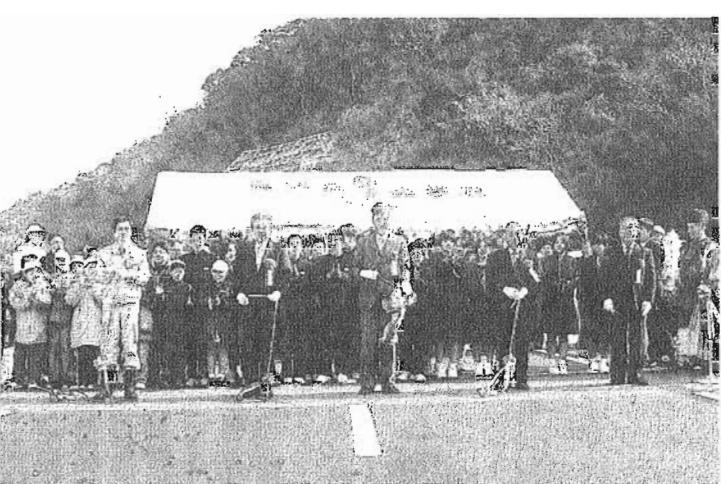


瀬上里線「大平良橋」「大うなぎ橋」開通式

渡り初めて完成祝う

開通を祝いテープカットを行う関係者
=薩摩川内市里町の現地で

先頭に里小中学校の児童・生徒、地元住民、工事関係者ら全員で大うなぎ橋、大平良橋の順に練り歩き、無事安全を祈念した。

県道瀬上里線は、県道1800m区間の橋梁工およ

び改良工が完了し供用し内市上甑町交差点を起点とし、再び桑之浦里港線開通式(県内土木事務所主催)が24日、薩摩

(株)昌和建設(株)ヒラミネ三友建設(有)山下建設(株)オリエンタル建設(株)コーナツ工業(株)林建設(株)

出水土木、現場見学会

田代小児童砂防ダム学ぶ

県出水土木事務所は24日、阿久根市田代の総合流域防災工事(田代中第3谷工区)砂防ダム現場(施工・株)阿久根建設)で田代小学校を対象に現場見学会を開催した。参加者は高学年の児童9人と引率の教諭3人。

現場見学の前に田代公民館で事前学習会を開催。唐仁原耕河川港湾課担当の戸田洋一土木技師

と山崎裕二現場代理人が作成したスライドショー

現地に向かった。

児童らは出来上がった

高さ18・6mの左岸えん

堤でダムの大きさを実感、

Vサインをして応えた。

右岸ではクレーンで吊り

下ろされたコンクリート

塊が現れた。

たり、「地球

と家族のため

の家づくり

と家族のため

の家づくり

と家族のため

の家づくり

地球にやさしい住ま

いを普及させよう」と、

設計・施工に携わる人を

勉強に役立ててもらえた

のでは」と話した。

戸田技師は「実際に動

のでは」と話した。

型枠の組立で作業中で、

いている施工中の現場を

見てもらい、土砂災害の

対象に、第一線で活躍す

るさまざまな分野の人を

講師に招き、省エネ住宅

ダムができるまでの状況

を見た。

勉強に役立ててもらえた

のでは」と話した。

戸田技師は「実際に動

のでは」と話した。

型枠の組立で作業中で、

いている施工中の現場を

見てもらい、土砂災害の

対象に、第一線で活躍す

るさまざまな分野の人を

講師に招き、省エネ住宅

や省エネ機能を高める設

計施工の手法や施工に普

及させるための実例紹介

など、実務のスキルアップ

を図るもので、今回約

30人が参加した。

初日の13日は、澤地孝

男氏(国土交通省国土技

術政策総合研究所建築研

究部)、須賀高氏(福岡

大学工学部建築学科教授)、

鈴森素子氏(NPO法人

ひょうご新民家21理事)

によるディスカッション

も行われた。

翌14日は、(株)安成工務

店代表取締役の安成信次

氏とすまい塾古川設計室

(有)代表取締役の古川保氏

による実例紹介のほか、

講師に、太良木則孝氏

によるエコ住宅の現場見学会も

実施した。参加者は2

日間にわたる研修会のほか、

講師に、太良木則孝氏

によるエコ住宅の現場見学会も

実施した。参加者は2

溝神地域合同研修会
溝神氏 積極的に経営革新

南薩地域合同研修会

創業・経営革新に関する

事例や現況と対策につ

いてのディスカッショ

ンや管内事業所への視

察や事業者による講話

などを中心に行われた。

初日は、中小企業診

断士の外戸口孝一氏ら

による経営革新支援診

断についてのポイント

を取るなど真剣な表情

で聴講していた。

いくことが大切」など

と力説。出席者らはヒ

ントを得ようと、メモ

を取るなど真剣な表情

で聴講していた。

最後に、外戸口氏が

「時代の変化に合わせ

た作業効率や生産性の

向上のほか、社員の就

勤環境の改善も含めた

労働環境の改善など重

いものであると語った

と総括。その後、一行

は本社と同工場の統一は、

他の模範となる素晴らしいものであると語った

と総括。その後、一行

は同工場内を見学し工

場内のシステムについ

て講話をした。

どうして講話をが行わ

れたほか、外戸口氏を

要増加に併せて、本社

のトランク構造の需

要増加に併せて、本社

のトランク構造の需